

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年10月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676800214
法人名	社会福祉法人 隆愛会
事業所名	賀寿園グループホーム愛(2)
所在地	鹿児島県志布志市志布志町安楽2814番地 (電話) 099-473-8186
自己評価作成日	平成30年10月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年10月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所理念に基づき、介護とは何か。認知症とは何か。と日々「気づき」と「振り返り」を心がけております。
認知症の方々、人生の先輩方と触れ合うことで、利用者様の歴史を知り、利用者様が何を望んでいるのかを「知る」こと。を念頭に日々の関わりを心がけております。
認知症の方の心境の変化と現実のズレに気づき、可能な限り、さり気なくズレの修正をできるように心がけております。
主人公が利用者様であること。「自己決定権の尊重」、「これまでの生活形態の継続」、「自立支援(残存能力の活用)」が施設生活の中で反映できる関わりを心がけております。
ご家族様や地域との関係については、家族会や会議等で適時情報の共有を行い、グループホームの日頃の生活・運営状況をお知らせしております。
私達は利用者様の「その人がその人らしく尊厳のある生活」実現を目指し、和顔愛語の信条の元、介護に携わっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の運営理念を念頭に置き「和顔愛語」の精神を基本にして利用者様方々の個々の尊厳を大事にし「その人の思い」に寄り添える介護ができるよう職員間で共有できる様に努めている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者様の思いを理解し地域への参加は出来る範囲で支援したいが、個々の支援はあまり実施できていない。地域の行事（正月踊り）法人の夏祭りへ参加することで地域の方々と交流をしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族会を通して認知症の勉強会を実施している。 地域育成の一環として、認知症実践者研修の受け入れや学生の実習、ボランティアの受け入れを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議を定期的開催することで、左記の内容を報告し意見交換している。委員会のメンバーの方々から意見や要望、助言をいただきながらサービスの向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や実施指導、その他箇べ地の案件についても、市・福祉事業所の担当者とその都度連絡相談しアドバイスをもらっている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会でマニュアルを基に勉強会を開催し、職員間で共通理解ができるように取り組んでいる。実際のサービス提供の場面でどのような事が、身体拘束となるか職員間で認識を持ちデメリット等を勉強会等で伝えている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会、勉強会においてマニュアルを基にどのような事が虐待になるか共通理解を持つよう取り組んでいる、その上で潜在しがちな虐待の防止に努め見過ごしにされないように職員間で話注意をはらっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者、職員は研修に参加し権利擁護とは何かについて学ぶ機会を設け、権利擁護とは何か学んだ事を共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用差様とそのご家族に対し文書・口頭で十分に説明し了解をいただいている。又利用代金変更文書改定等の変更時など変更事項について明確に説明会を実施し、理解をいただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見交換会、食事会などの実施。毎月のお便りの中にご意見用紙を同封し玄関にポストを準備している、又面会時ご家族様から話があれば出来る範囲で対応している。利用者様に対しては、日々の生活の関わりの中で言葉や態度、表情などから思いに気付けるように努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議やユニット会議を行い、意見や提案ができるようにしている。年間行事の提案や反省、日常の改善点その他問題や提案がある場合についても職員の意見が聞けるようにしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、職員の思いや悩みに耳を傾け相談や悩みを聞いて下さっている。環境面での意見についても意見を聞いて下さる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資質向上の目的で施設内外の研修に参加の機会をもうけている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外内部研修での研修等での交流を通して資質向上に向け得勉強会、情報交換を行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居が決定される前から、面談を通じ本人の思いや困りごと不安等が把握できるように努めている、入居により環境の変化による不安が軽減でき安心して生活できるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前にご家族様との面談を行い不安や悩み今後の生活に対する悩みを聴く機会を作っている。又入居後も色々な行事等様々な場面で協力が頂けるように信頼関係を持てるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居相談がありその段階で入居に対応できない場合は、本人、ご家族様にとって可能な限りどのようなサービスが最善か、居宅サービス・他の境資源で支援できないかなど検討するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居差様のできること、出来ない事は何か、本人の思い等を分かち合えるように努め生活の中でその方を尊重しながら共に生活していく雰囲気を作るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等の参加をお誘いし利用者様との交流の機会をが持てるように働きかけている。又面会の際日々の様子を経過記録をお見せしたり、お話で伝えている。毎月の広報誌と一緒に担当者が日々の様子を手紙で伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所への支援ができる機会が難しくなっているが、ご家族の協力をもらいながら支援につながるようになっている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでの座り位置は個性・身体機能・認知度・介護の必要性等でできている。又心身の状態や感情の変化に注意しながらお互いに良好な関係が保てるように職員が調整役となっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した方、ご家族には、当時の写真を思い出になるように編集した物をお渡ししている。また必要に応じて連絡をとることもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の関わりの中で本人の思いを尊重し思いを聞けるような場面を作るようにしている。又自分の思いをうまく表現、伝えることのできない方には表情等を観察し少しでも思いに近づけるようにし職員間で共有できるようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に入居前の経緯やこれまでの生活歴等の情報は把握できるようにしている。情報の足りない部分などは、ご家族の面会の際にお聴きしたり、本人との会話の中から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	経過記録やバイタル表などに排泄、水分、食事摂取量、健康状態を記録し生活状態や特記事項などを記載し職員が情報を共有できるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の本人様の状態、職員の気づいたこと、ご家族との関わりの中での気づき等を計画に反映できるようにしている。モニタリング、アセスメントの中での築きを計画に反映できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の出来事や状態、変化を個別記録に記入し申し送り等で利用者状態を記録を見ることで職員情報が把握できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人の心身の機能低下やご家族の状態変化に伴い支援ができなくなった時は施設内で対応できるようにご家族とも協力している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>災害や火災等の際ご家族やご本人が安心して生活を維持できるように消防署や関係機関、近隣の方々の協力を胃阿多だき年二回の防災訓練をおこなっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者様やご家族の希望されるかかりつけ医を利用できるようにしている。緊急時においては、協力医療機関との連携が取れるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤で看護師を配置して利用者様の健康管理を行っている。 異常発生時は随時看護師に連絡でき介護士と連携・協力できる体制ができています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は、本人のこれまでの生活の状態、発症の経過状態の変化などを医療機関へ情報提供し、本人に対する支援、介護の方法等の情報も提供している。今後の回復・退院に向けたアプローチを医療関係者と情報を交え支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化や見取りについてご家族やご本人にホームでできることを具体的にメリット、デメリットを説明し意思確認書で同意を得ている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入居様の急変時・事故発生時における緊急マニュアルを作成し職員間で共有している。状態の急変時は看護師に連絡し報告し適切な指示が得られるような連携をとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人やホーム単独での防災訓練を消防や近隣消防隊と協力をもらい定期的に見学している。各ユニットに防災管理差を配置している。又防災設備の保守点検は定期的に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重し、プライバシーを損ねないような生活ができるよう言動に注意して職員間でそれぞれが気を付く職員間で気付いた時にはその都度注意するようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できるだけ本人の思いが表現できるような声掛けを行い本人の意思を確認するようにしている。 又自分の意思を表現できない方に対しては表情等を観察して少しでも思いに近づけるようにしている。」		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常の流れがほぼ一定化している部分もあるがそれぞれの個々の生活のペースを尊重して少しでも希望に沿った生活ができるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服を自分分で選択できる方に対しては自分で選んでいただいている。 ご家族に、利用者様が好んでいらっしゃる衣類等持って頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立は職員が立て法人の管理栄養士にチェックしてもらっている。 調理においては利用者様の出来ることを協力して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは、法人の管理栄養士に助言をもらっている。食事、水分摂取量は毎食記録している。食事形態はその方に応じた形態で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。それぞれの状態にあった介助方法で支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンに応じて支援を行っている。排泄を表現できない方に対しては行動、表情を見て誘導し失敗を減らすように対応している。排泄のサインに気づき職員間で共有できるように		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や牛乳等乳製品の提供、水分摂取量等に考慮している。毎日のラジオ体操等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	職員のローテーションの関係で曜日が固定化されている。 入浴を嫌がられる方には、気分転換や酔えかけを考慮しながら進んで気持ちよく入浴できるように対応している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入床に介助の必要な方は定時に休まれている、入床前には、居室の環境を事前整えている。夜間は、巡視を行い室温等環境に気を付けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療連携記録簿に服薬している薬剤の名前、効能、副作用、服薬方法等が記載してある処方箋を綴じ情報が、職員間で共有できるようにしている。 服薬後の急変時は看護師に連絡し医師との連携が取れるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人が出来ること家事等の手伝い等をそれぞれにして頂き、して頂いた後は感謝の言葉かけをして、本人自信や誇りを感じて頂くようにしている。 レクリエーション等の参加も本人の自信に繋がるような声掛けをしている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出は、本人の状態を考慮しながら天気なども配慮して行っている。 馴染みの場所や思い出の場所などへの外出支援も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は、ご家族にお願いしている。利用者様が希望される物については、ご家族様に連絡相談して必要な物を持って来てもらうようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>自宅やご家族に連絡を希望される時はその都度対応している。自室に電話を設置されている方に対しては職員が気づいた時には、対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングには、テーブル、ソファ、テレビを設置している。室温、日光の調整は職員が心地よい環境が保てるように調整している。季節が感じられるように壁に季節が感じられるような装飾をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングでは、馴染みになられた方同士で、会話をされたりしている又テレビを見たい方は、ソファでくつろいだれされている。。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に本人やご家族にご自宅から、使い慣れた家具や馴染のや思い出の物を持って頂く事で自宅に近い環境が作られ居心地の良い生活ができ安心して過ごせることを話している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	広い環境で安全な動線が確保できるように配慮している。それぞれの方の出来る事、出来ない事を考慮しながら安全な生活がおくれるようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない